

- ▶ 本市は、名古屋市近郊にあり森林面積が少なく、愛知用水等を通じて水が供給されており、水源地の森林の恩恵を大きく受けている。水源地にあたる長野県木祖村の協力のもと、森林環境譲与税を活用し水源地の森林整備、木材利用を促進していく。
- ▶ 令和3年度においては、長野県産桧材を使用し制作された下駄箱を使い、市内中学校2校の木製下駄箱を更新した。

□ 事業内容

1 小中学校下駄箱の更新事業

- ・ 長野県木祖村が、長野県産桧材を使用して製品化している下駄箱を購入し、市内小中学校2校の下駄箱を更新。

【事業費】 9,200,400円（うち譲与税9,200,400円）

【実績】 木材使用量6m³



（事業1：更新した下駄箱の様子）

2 中学校維持管理経費

- ・ 中学校の学習環境の向上及び安全な施設の維持管理をし、生徒が楽しく学習し、安心・安全な場となる学校づくりをするため、図書館に木製の片面傾斜書架を購入。

【事業費】 214,500円（うち譲与税114,600円）

【実績】 木材使用量0.3m³

□ 事業スキーム

- ・ 長野県産桧材使用の下駄箱の制作を依頼
- ・ 費用は譲与税で負担



- ・ 長野県産桧材を使用した下駄箱を提供
- ・ 森林整備・木材利用促進

□ 工夫・留意した点

- ・ 下駄箱の老朽化が進んでいる学校が多くあり、税を活用することで、より多くの学校に対して下駄箱の更新が可能となるため購入した。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	9,315千円
②私有林人工林面積（※1）	6.00ha
③林野率（※2）	2.0%
④人口（※3）	113,787人
⑤林業就業者数（※4）	2人

※1、2：「2020農林業センサス」より、※3：「R2国勢調査」より、

※4：「H27年国勢調査」より